原作：タカヒロ
STORY：TAKAHIRO
作画：田代哲也
COMIC：TASHIRO TETSUYA
アカメが斬る！
13
Akame ga KILL!

アカメが斬る!
Akame ga KILL!

AKAME GA KILL! EX

TAKAHIRO TASHIRO TETSUYA

CONTENTS

003 第61話 援軍を斬る
043 第62話 過去を斬る（前編）
093 第63話 過去を斬る（後編）
137 第64話 妹を斬る（前編）
181 第65話 妹を斬る（後編）
213 第66話 因果を斬る

今日はすき焼き丼だ
しっかり食べて決戦に備えなくてはな
私の分も少し食べていいよー
ピンポーン
…タツミ？
トントン
タツミ
ご飯出来てるぞ

第61話 援軍を斬る

アカメが斬る!
Akame ga KILL!

ぐっ…
ぐっ…う…
うっ…
あっ
あぁぁ

あああああああああああ
いつ止むんだよ
ハァ
この痛みは…
ハァ

身体が…
引き千切られそうだ…!
見つけた
タツミ!
アカメ…
姐さん…
危険な匂いがしてくる訳だ
こりゃ派手に

騒ざってるね
タツミ

……
医者は4回までもつって言ったのに
1回インクルシオを使用しただけでこれだ
身体が内側から
喰われてるみたいに…！

大丈夫だ
私達がいるぞ
一人でいると不安になるだろ？
こっちの方が安心しないか？

アカメ…
姐さん

タツミをみすみす竜の身体にしたら私達マインに発破されるしな
まったくだ
…ちょっと弱気になっちまってたぜ…情けねえ

これ位…
押さえ込んでみせる…!!

ビュッ
ビュッ

この調子なら
完全に元に
戻りそうだな
あぁ
ありがとう
お
余裕も
出てきたか
アカメ
！
新しい任務だ
言っておくが
タツミと
レオーネは
今回待機
決戦に向けて
体調を戻せ
…姐さん
どこか
悪いの？
この前の戦いで
ワケの分からん
もんに
絡みつかれてさ
絶不調

よくなってきてるから心配すんな
私はしぶといからな
姐さん…
自分がそんな状態なのに俺の心配を…

あ〜〜〜
はふーっ
しかし私はなんで戦闘するとロクでもない目にあうんだ
普段ロクでもないことをしているからじゃないかな

間もなく帝都周辺に各地の反帝国軍が完全集結する
いよいよ最後の戦いだな
決戦では出来るだけこちらの被害を減らしたい
パラ
これは大臣に加担している将軍や兵長達のリストだ

帝都に潜入し
戦準備の混乱に
乗じて
こいつらを
出来るだけ
斬ってきてくれ
宮殿には
近づかなくて
いい
あくまで
宮殿の外にいる
奴らだけで
構わない
分かった
戦力を
削ってくる

こちらの暗殺に
対する備えは
大丈夫だな？
お前の
いいつけは
キッチリ守ってる
おかげで
犠牲者は
出てない
タツミと
レオーネのこと
よろしく頼む
ああ
心配だとは
思うが
大丈夫だ
私は…

スイッチを
入れれば
どんな時でも
殺しが出来る
――葬る
…頼んだ
帝都への潜入は
密偵チームが
手引きしてくれる

帝都兵舎

自在に操る

改めて思うが
我ながらシンプルで
良い能力だ
その気になれば
どんどん技の
アイデアが出てくる…
決戦が楽しみだな

氷を生成し

後は兵士の士気を
もう少し上げて
おきたいところだが…
その為には…
将軍!!
敵の一部隊
約千人が
帝都城壁に向け
進軍中です!

丁度良い
タイミングだ
ゴキオオ
私が出る!!

おい
敵襲だ!!
ついに反乱軍の
奴らが来たぞ

安心しろ
エスデス将軍が
出られるそうだ

騒がしくなってきた
エスデスが出撃したとなれば動く絶好のチャンスだ
よし！今から宮殿に突入するぞ！
我らの手で血の報復を
ヌマ様の仇を！
皇帝の首をはねろ！
宜しいのですかヌゲ様！
世紀の一戦で目立つには抜け駆けくらいせねばな
他の者達と足並みを揃えずに！
なァに功を立てれば皆何も言わぬわ！

"決戦を前に奇襲敵の士気を削いだ勝利の立役者"として
このヌゲの名は歴史に残るであろう！
ドドド

あれは…
エスデス
ではないか…
身にまとっている
氷を操って浮かせば
一緒に私も浮く
ラン程自在には
飛べんが…
派手な
デモンストレーション
には最適だ！

ついとるわ
儂の帝具
アッキヌフォートで
射貫いてくれる！
あいつを
仕留めれば
最高武勲…!!
幸い名前も
判明しておる
目標
〝エスデス〟！

〝アッキヌフォート〟
弓矢の帝具
目標の名を叫びながら射ると
目標が射程内にいる限り
永久的に追尾し

討ち抜く!!

帝具…
これで誰かを狙撃でもするつもりだったか
ぬるいな…
帝具を使うなら
派手にやってみせろ

ああ
ああ
ああ

準備中の奥の手を馳走してやるぞ…
反乱軍

がはっ
んー
宮殿内部の怖さを分かってないとか

さては
異民族ね
おのれぇ!!

ああ……ン
仕留める！

せっかちねぇ
仕留めに来るなんて
もう少し殴ってほしかったケド

くそっ！

ついに ここにも
敵が来るように
なった…

ウェイブの持ち場…
大丈夫かな
バケモノめ!!
こんな奴らが守ってるとは!
絶対逃がさねぇぞ!
大人しく捕まりやがれ!

このっ
ごふっ

帝長無しで
ここまで動けるとか
何者だよ こいつら
宮殿からだいぶ
離れちまった
じゃねぇか

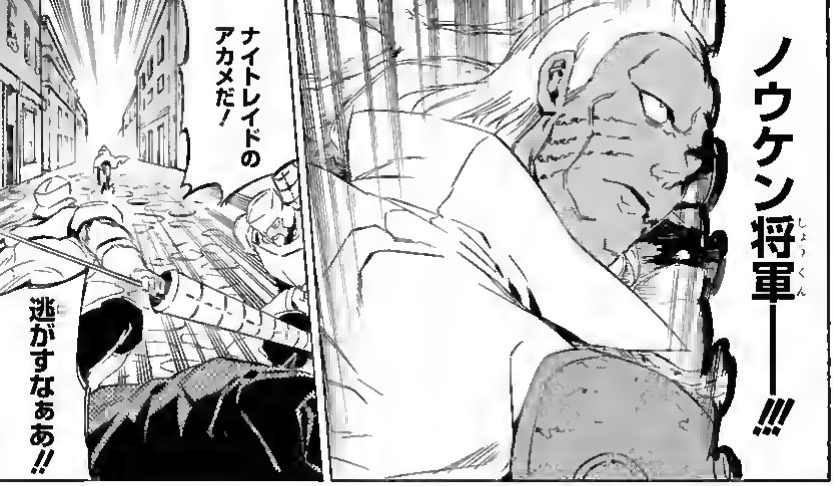
……ん？

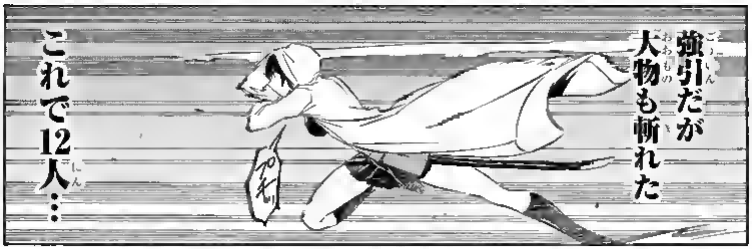
しばり
しばり

エステス将軍が
一人で敵を
片付けるとは
ザッ
ザッ
全くだ
無駄足
でしたな
ノウケン将軍
楽しく女を
抱いていたと
いうのに

抱き直しだ
5番を
呼んでおけ
5番はこの前
将軍が壊した
でしょうに
む
そうか

うぐ
おごっ
あっ…！
殺気を感じさせずここまで接近するとは…！
アカ…！


ノウケン将軍(しょうくん)――!!!
ナイトレイドのアカメだ!
逃(に)がすなぁあ!!


強引(ごういん)だが大物(おおもの)も斬(き)れた
これで12人(にん)…

潮時(しおどき)だな

ずいぶん
強引なやり方
するじゃねえか
だが逃がしは
しない！
お前は…
見つけた偶然に
感謝するぜ
アカメ
お前を狩る

……
戦う前に一つ
話したい
ことがある

何言ってやがる
将軍殺しが！
覚悟しろ！

こいつがマノハで
逃げるもんだから
応援を呼ぶヒマも
無かったが

ギゅっ
問題
ねえ
俺の鎧なら
妖刀を防げる

止むを
得ないか

今の状況ならあの鎧を攻略出来る…

おぉおおお
儂の可愛い
ワルモ……
帝国の未来を
背負う
お前が…!!
こんな姿に!!
街の陰ぎ
から見て
ワルモ様は
窓から入り込んだ
アカメに
斬られたかと…
おのれ
反乱軍め…
このまま
おくものか

第62話 過去を斬る(前編)

ア ア イ イ ア イ
行くぞアカメ!!
今回こそ
仕留めてやる!!

分かってるだろ！
その刀じゃ俺の鎧は斬れねえよ

そうかな
……!?

なんだ？
逃げようともせず
どんな勝算があって戦ってやがる…
何を考えていようが
これで！
!!

グランフォール!!

正面からの大技に直撃するほど
！
遅くはないぞ!!
こいつ…
さっきから同じ所ばかりを
！
まさか！

そうだ
お前の鎧は堅牢だが
こちらの武器も帝具
時間はかかるが
同一箇所を攻撃
し続ければ
そこだけでも
割ることは
出来るはず
……っ!!

昔…
同じ手で仲間が
殺されたことが
検証で分かっている
確実な
方法だ
お前には確かに
キョロクで
ダメージを
受けた
だがあれは私が
大聖堂に
急いでいたゆえ
危険を冒して
お前の懐に
飛び込んだからだ

今は急いでいない
確実に回避し
少しずつ斬撃を当てていき
鎧を割る
この状況で
お前は私に勝てないぞ

…そうそう
思い通りに…
させるかよ!!
今のアカメの台詞は一つの事実であるが
狙いはウェイブに対する揺さぶりである

キョロクでウェイブが3対1で戦えたのも事実
落ち着いて冷静になればいいものを
彼は焦ってしまった

その拳先が
少しずつ
荒れていく
一方 アカメは
一撃でも食らえば
危険という状況に
ありながら
極めて冷静に
攻撃を回避し
確実に

斬撃を当てていった
分かって来たぞ…
この帝具
隙裏の部分だけが…
他に比べてやや脆い…
交戦するうちに
ウェイブを倒す手段を思いついていくアカメ
だが流石に狙いにくいか

ここは始めの
考え通り
地道に行く
しかし焦って
その手段に
訴えたりしない
分析し
勝てる確率が
高い方を
選んでいく
くそ
敵わない
相手じゃない
当てること
くらいは出来る
はずなのに

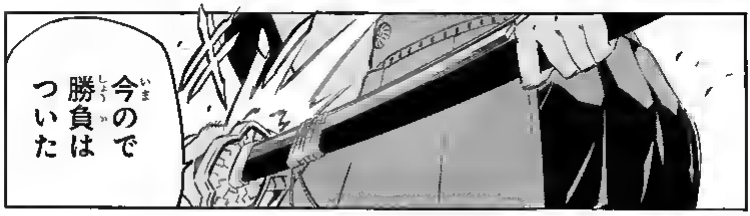
毎回 最善手で
避けてきやがる…

ハァ
ハァ

コイツ
土壇場で
どこまで
落ちついて
んだ!?
場数の違い
だってのか…?
ふざけんな!

グランシャリオの鎧が…!!
……っ
ガロォ
ガロォ

死ぬにしても
意地で絶対一撃入れてやる
来い!


今ので勝負はついた

!?
な なんのつもりだ!
話があると言っただろう
聞いてくれないか

妹(クロメ)について

クロメ…？
何を考えてるか分からねえが
このまま戦い続けてれば確実に死ぬ

今は何か糸口を探すしかないか…
すまん
ペコ
……

…さっきの一撃
手加減したのか？
手加減して
鎧は砕けない
結果的に
お前が
生きていたから
戦闘を
止めただけだ
容赦一切
無しか
手加減してた方が
むかつくけど
攻略の鍵に
なりえると
思ったのにな
そうかよ
手強いな

私は
クロメに
だからお前から
クロメに
伝えてほしい
帝都の外で
私が待つと
直接
会いたいんだ

今さら連れて逃げようってのか!?
違う
邪魔が入らない場所で二人きりで果たし合いをする為だ
なっ!?
クロメもそれを望むはずだ
…ふふ
何かと思えば…
殺す為に呼び出せって?

いくら
敵味方でも
姉妹だろうが!!
なんで最後まで
殺し合わない
努力をしない!!
俺にはそれが
分かんねぇよ!!!
その問いに
答えるには
少し長い
話になる

私とクロメは
帝国に刺客として
育てられた
私の方は
ひたすら山で
鍛えられた
そうか…
こういった野山は
そもそもアカメが
得意なステージなのか
道理で自由自在に
動き回る訳だ…

だが
クロメは
私とは別…
帝都の地下で
薬物漬けで
育てられたんだ
今も薬の
混入した菓子を
食べ続けている…
だろう？
…あぁ…

クロメに投与されてる薬物は確かに肉体を強化するが
寿命を大幅に縮め
さらに脳にも負担がかかることから

精神すら異常になっていくことが分かった
異常って
あいつはそんな…

!!!

クロメの身体はもう…
あの薬が無いと危険な発作を起こすようになっていた
そこまでヤバイ薬だったのか
薬物投与をやめさせようと試みたが

それこそお前が傷にいてやんなきゃ…！
なんで帝国を裏切ったんだよ！
…だったら
……

山の外に出て
帝国内部を
見ているうちに
私は
疑問を持った
民が苦しんでいるのは
帝国の圧政の
せいではないかと
いくつかの
出会いと
事件を経て
それは
確信に至る

私は帝国についていけなくなり
抜けることにした
その時にクロメは誘ったんだよな…？
ああ
神の秘湯と呼ばれる地が辺境にある

平たく言えば各種温泉が揃う療養地だが…
そこでケアを受けながら今の薬を抜けばクロメの寿命は延びるかもしれない

病気で余命半年を宣告された人間が5年経った今なお生き続けてる事例も報告されている
…ゼロでないなら賭けてみる可能性はある
私はクロメに帝国軍を抜けて薬を断ち生きる可能性を探してくれと願った
だがクロメは死んだ仲間に対しての裏切りになるから
帝国は離れないと言った…
今の仲間と敵になるのも耐えられないと…
本当は強引にでも連れて行くなりして
決着をつけなければいけなかったこと
だが

無理だった
力不足だった
…俺は
恩人が帝国軍人だ
その人と戦うなんてありえねぇ
寝返るって選択肢はねぇ
そういう意味ではクロメの気持ちが分かる

お前もクロメと
同じことを
思わなかったのか？

心境を変える
事件が色々と
起こったが
何よりも

私達が人を
殺していく
理由は…
戦争を
未然に防ぎ
民を
幸せにする為…
そう教わってきた
だから真に
民の為を思えば
帝国にいては
いけないと思った
だが
そもそもの元凶は
帝国だった
…俺だって
帝都に来てから
色々ヤバイなと
思ったさ

だから俺は
帝国を中から
変えようと思ってる
そういう考えは
無かったのか！
中から…か…
その志を持った
人間が権力を牛耳る
大臣一派にどれほど
消されたか

どれほどって
そんなこと…
分かるさ
……
帝国の闇は深い
…昔
命じられるままに
私が殺してしまった
人間もいるからだ

中から
変えようとしても
無理だったから
こういう状況が
生まれたと
思っている
…だからって
何もやらない
訳にはいかねえ！
昔とは状況が
違うんだ！
俺は中から
変えてみせるぞ！

…そうか…
それに
賭けるのが
お前の道か…

話を
まとめさせて
くれ

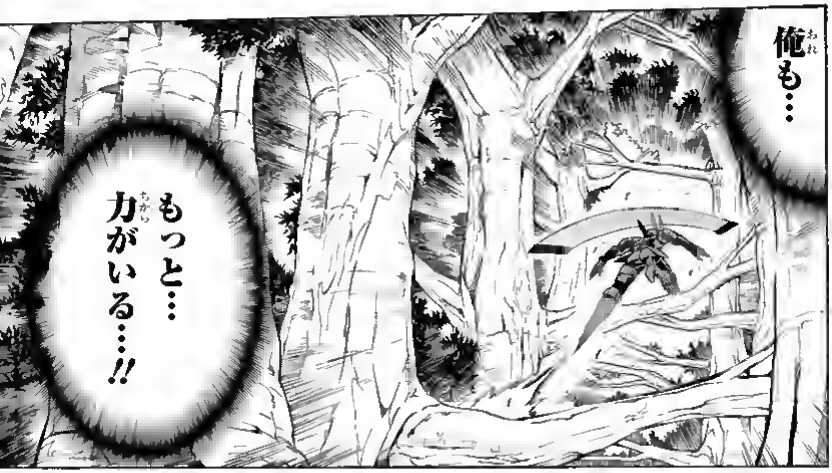
クロメは
仲間の為にも
戦って帝国の
任務を果たす
ことが
生きる理由だと
考えている
クロメの
考え方では
戦い続ける
しかない
薬で
壊れながら
残り少ない
寿命で
ならば
私が戦い
あいつを
苦しみから
救済して
やるんだ
それが
姉として
妹にして
やれることだ
クロメ

もういい!!
クロメを生かす話ならまだしも
殺す話なんて聞く耳持たん!!

どんな事情にせよ妹を斬ることが救済なんて言ってるお前…
どうかしてるぜ
俺がお前等反乱軍を潰し
クロメをその秘湯とやらに連れていって治してやる

お前の救済なんていらねぇ!!
……!
おい…
さぁ願いを拒否した俺を逃がしていいのか…!?
追ってこい!そこにカウンターを食らわせてやる!!

追ってきやしねえ…
くそっ…!!
アカメ…ここまで手強いとはな…
それに恐らく処刑場を切り抜けたタツミもパワーアップしてるはず


俺も…
もっと…
力がいる…!!

長話がすぎた…
戻らなければ
危険だ

クロメ…

ウェイブ！

クロメ…
ハァ
ハァ
宮殿に入り込んできたの…
北の異民族の残党だったみたい
！
なんでわざわざこのタイミングで異民族の刺客が来る？

帝国が滅びそうだから
じろ
じろ
その前に復讐を【自分達の手でやって】訳か…？
強引な連中だな
ぎゅう
ばさっ
宮殿に入り込むなんて

って！
じーっ
何をしてんだよ！

武器に毒を塗ってる奴もいたから
掠り傷でも危ないと思って…
俺は鍵の帝具持ってっから大丈夫だよ
あ
そういえばそうだ

なんか思ったよりムキムキだね
ポニ
海の男だからな
……

な…
なぁ
クロメ
もう
決戦だけど
やっぱ今でも
アカメと
戦いたいか？
勿論！
お姉ちゃんが
誰かに殺される前に
私が斬りたいし
もし私が負けても
お姉ちゃんに
斬られるなら
いいよ！

どちらにせよ
それでずっと
一緒にいられる
んだよ
だから早く
戦いたい！

…ウェイブ？
おかしなことを
言ってるのに
姉妹揃って
ブレがねぇ
なんとか
しないと…

ノウケン将軍
まで仕留めて
くれたか
ありがたいぞ

クロメを
呼び出そうとしたが
失敗してしまった
すまない

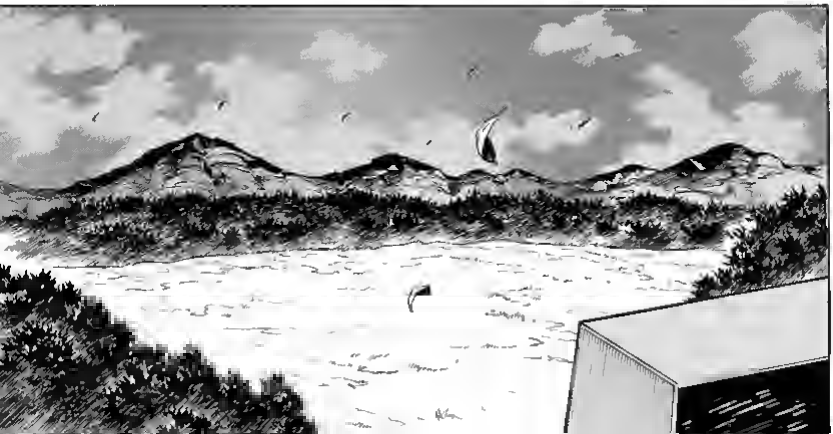
クロメを
倒そうと試みて
くれただけでも
軍としては
ありがたい
追っ手を
逃がした件だが
この局面で標的
でない相手を
無理に仕留め
ようとして
お前に
怪我されても
困る

十分な結果さ
これで犠牲者がまた減ることだろう

この感謝の気持ちを何かで伝えたいが…
わきわきわきー
じゃあ性感マッサージでもしてやろうか
ほらー
わしゃ

レ
しなくていいレオーネ!!
にょほっほ良い感触よのう
んじゃマッサージは終了
どう?

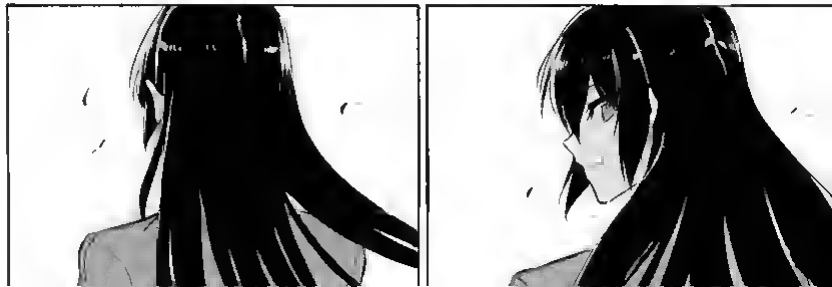
あぁ
バッチリ
疲れが取れた
これできた
フルパワーで
戦える
ボス
こちらがここまで
暗殺したとなれば
帝国側も
黙ってないぞ
報復…か…
強引にでも暗殺を
仕掛けてくると
考えた方がいい
闇の部隊を
使ってな



今夜遅くが危ない
早めに出て私は警護にまわる

タツミは疲れてオネムだけど今回は私も行くよ
嗅覚大事だろーし
助かる
頼りにしている

かつての仲間達との戦いになるが
頼む



それが私の
選んだ
生き方だ
襲ってくるならば
葬る

…そうか
アカメを取り逃したか

申し訳ありません
お前の現在の受け持ちは宮殿警護

街での事件は区分外だ
むざむざ暗殺されたノウケン達が悪い
でも…
自分が不甲斐ないです

私とあれだけ
斬り結べる奴なぞ
ブドー亡き今
……！
村雨持ちのアカメと
吹っ切れた
タツミ位
なんじゃないか？

全く楽しみだ
決戦に備えて
力を溜めている
この瞬間も
退屈せんほどに
ワクワクする…

隊長！
俺も…

もっと…
もっと強く
なりたいです!
鍛えて
ください!!

無理だな
そんな
アッサリ…!

お前は
完成された強さと
言ったではないか
言い換えれば
もう
上限なのだ
やって
みなくちゃ
分からないじゃ
ないですか!
限界なんて
突破して
やります!!

ほー
そこまで言うなら鍛えてやらんでもないが
もう数日で決戦だぞ
う

この短期間で強くなりたいなら
もう狂った方法を取るしかないな

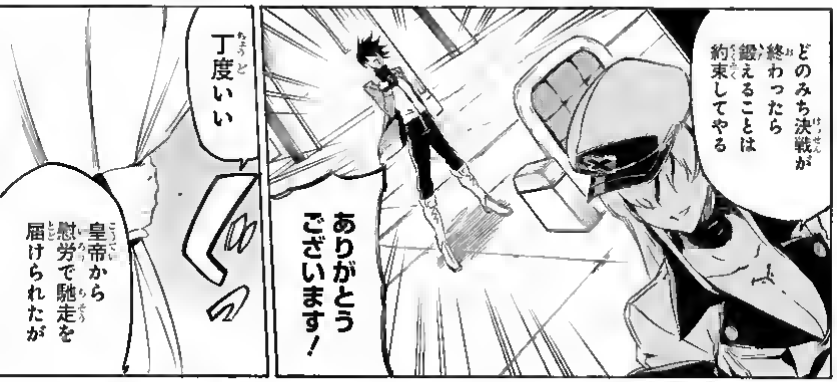
俺のグランシャリオは常に安定してる分
爆発力は無い

や…薬物とかですか？
そんなものでは駄目だ
もっと反則技だ

通常 帝具は
一人一つ
だけだ
これは私ですら
守ってる鉄則
だが
一人が二つの
帝具を同時に
使ってみたら
どうなると
思う？
!!!

答えは
崩壊
体力
精神力がまず
持たんだろう
だがお前なら
一度ぐらい
帝具二個持ちで
戦えるかもしれんな
相性問題も
クリアする
必要があるが
帝具を…
二つ…

それなら
俺も…
自身の
身体だ
好きに
判断しろ


どのみち決戦が終わったら殺ることは約束してやる
ありがとうございます！
丁度いい
皇帝から慰労で馳走を届けられたが

こんなにいらん
食べてけ
なんにせよ
飯は食わんと力が出ないぞ
は…ハイ!!
甘いものはクロメに持ってってやれ
任務から帰れば腹も減るだろう

任務？

闇の部隊の一員として招集がかかった

反乱軍の陣に要人暗殺へ向かったのだろう

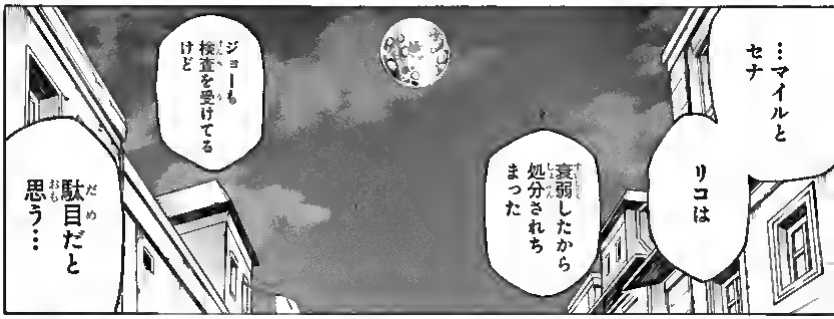
！

断ることも出来たが

クロメ自身が望んだのでな

ザッ
ザッ
ザッ
クロメ…！
久しぶりみんな！
超久しぶりじゃん！
わっ
イェーガーズでも上手くやれてるか？

アレ…？
人数…減った？


…マイルとセナ
リコは
衰弱したから処分されちまった
ジョーも検査を受けてるけど
駄目だと思う…

…そっか

処分されるのは

嫌だね…

…うん

今のところはね

そっか良かった

決戦になれば帝国が勝つ

俺達も頑張ろうぜ！

うん

隊長…エスデス将軍がなんとかしてくれるよ

あの奥の手を見たら負ける気がしない

楽しみだな遂に空飛んだんだろ？次は何が起きるやら

ところで今はカイリがリーダーなんだよね？

そうだぞおクロメっち

久しぶり

うわ
薬の副作用モロに出てるね…
ホルモンの変化とかなんとか…
しかも嫌な出方をしてるよな！
俺まだ10代なのによ

でもまぁ
戦えるんだから贅沢言っちゃいけねぇ……

マジでな

さてっ！
今回の任務は反乱軍陣地にいる要人達の暗殺だ！

何度か探ってるが
警戒レベルの
高さは
ハンパじゃない！
難度
Sだ！

それでも
強引に行け
との命令だ！
犠牲を
出そうが
何がなんでも
殺された者達への
報復はしろって
ことだ!!

上等だろ！
めっちゃ殺して
上を驚かせて
やろうじゃないか!!!

おお！
ただ
それが俺達の役目だからな！
アカメもいるよね多分…
裏切り者を斬る
それだけのことだ

だいたい俺は選抜組の7人が気に入らなかったんだ
結果的に殆ど死んじまうし
生き残った奴等は帝国軍にいねぇし!!
ってことで躊躇わず殺せ！
あと村雨は防がず避けろ！攻撃力も高いからな！

では
投薬開始！

東西に分かれて
突入する！
こうすれば
どちらかが
倒れてもどちらかは
突っ込める！

おい
クロメっち
任務が終わったら
今晩くらいは
俺達の所に
泊まっていけよ
お前
人気者
だからな～
話したいって奴
いっぱいいるぞ

……うん
AA"

ガ
ガ
ガ
ガ
ガ
!
止まれ
誰かいる!

ルートを読んでいたか
アカメっち
たった一人で待ち伏せていたのか？

クロメは
レオーネの方に
行ったか…
大勢で
待ち伏せて
いたら
お前達は
気付いて
しまうからな

というか
お前
もしかして
カイリ…
なのか…？

正解っ
ちょいと苦労が
たたったもんで
老けちまった
誰かさんが
抜けたおかげ
でなぐ

揺さぶりは無駄だ
通じないぞ

すぐに援軍が駆けつけてくる
見つかった以上引くべきだ
こっちにも事情があってな
強行突破させてもらう

……

いいか
アカメ
生きて妹に
会いたいなら
お前は任務の時
もっと非情に
ならなくちゃ
いけねえ
自分の中で
スイッチを
切り換えるんだ
…そうだな
何か「言葉」がいい
任務をこなす時
それを実際口に出すか
心の中で唱えるか…
どっちでも
いいから
やっておきな
おまじない
みたいなもんだ

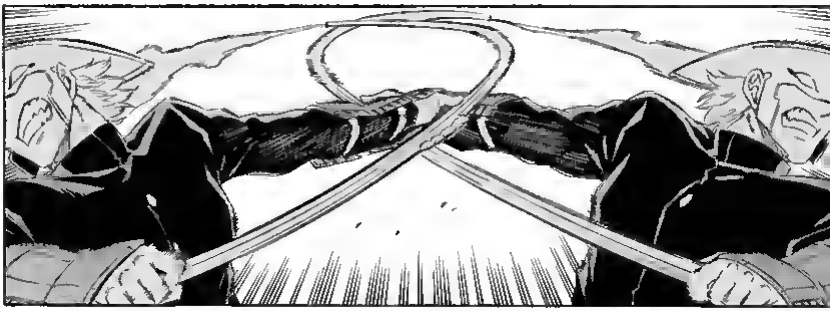
この先に行くというのなら
〝葬る〟

ボロッ
迷いがねえ…
こりゃあ腹くくるしかないたあ…
超強化薬

が…
は…
ぐあっ
があっ
ビキ
ビキ
ビキ

消せ

標的
アカメ！
裏切り者め…!!
殺してやるっ!!!
葬る!!!!



葬る!!

葬る!!!

葬るっ!!
葬るっ!!!

斬ろ!

SCRAPE
察っっっっ!!!

……
…やっぱ
選抜組
気に入ら
ないけど…
強いわ

負けたよ
アカメっち

ドガ
ガキ
ガキ
ガキ
ガキ
くっ

腕の落とし前
つけてもらうよ！

！
お姉ちゃん！
クロメ…!!

別動隊は全滅したみたいだな！
こっちの援軍はどんどん来るぞ
……!!!
部隊を分けることも侵入ルートも読まれてた…
まずい 引かないと全員やられる！
刺！
八房！

くっ
死体の捨てゴマか……！
撤退して
みんな!!

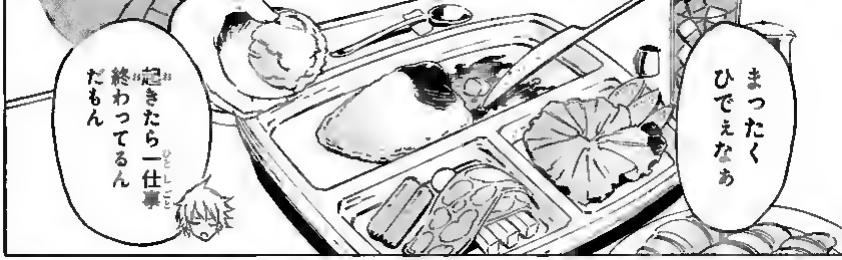
クロメ！
明日の夜
一対一で
会おう

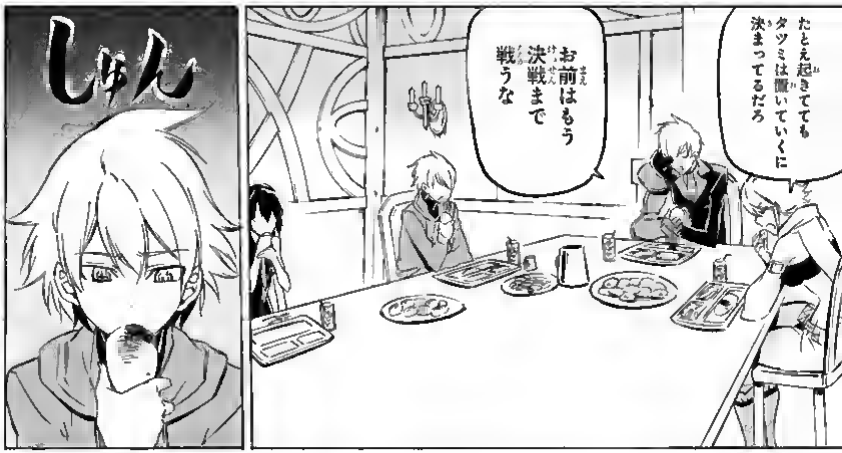
帝都の外
あの場所で
待って
いる…！

……！
うん！

第63話 過去を斬る(後編)

第64話 妹を斬る（前編）


まったく
ひでぇなぁ
起きたら一仕事
終わってるん
だもん


しゅん
たとえ起きてても
タツミは置いていくに
決まってるだろ
お前はもう
決戦まで
戦うな

わしゃ
それって
なんだか…
俺だけ
楽しちまってる
じゃん
わしわし
安心しろ
決戦で
めいっぱい
働いてもらうから

だってさ
ダッダッダッ
良かったなタツミー
タツミは処刑場で凄い活躍をしたしな
ガ
その分今休むのは当然の流れだ
ガチャ
ごちそうさま
バ

アカメ…
口数
少なかったな
そりゃあな
今夜だもん
妹と会うの
か…
姉妹の戦い

ボスは
許可してるん
だよ……
な？
クロメは
元々標的だ
帝国から彼女が
いなくなれば
決戦時に要人を
暗殺される
可能性が減る

ただ正直 決戦で
クロメの存在が
戦の勝敗を左右する
程とは思えない
総大将の暗殺を
許すほどこちらは
抜けてないからな
そういう意味では
無理をして
決着をつける
案件ではない
なら…

アカメが革命軍に加入する時に出してきた条件は
妹のことについてのみ可能な範囲でわがままを通させてもらう

まさに今がその条件を満たす時だろう
だから私は許可する

姉さんは？
アカメの望むままにさせる
殺したくても
助けたくても

出来る限りの力を貸す

ちなみに帝国が無くなって無力化したクロメがまだ生きていた場合

アカメが面倒を見るならクロメの罪はもう問わないと革命軍側は昨晩決定を下した

これもアカメの妹に関するわがままだな

この要望が通る位アカメは働いてくれている

…じゃあアカメは

今夜は乱戦でなく姉妹での一対一

これなら説得を行っても味方に迷惑をかけない

殺さないで済む方法を探すチャンスかもしれない

ミョボッ

だから
言ったろ
助けようと
しても私は
肯定するって
こちらとしても
クロメが帝国側から
いなくなれば
それでいい

だけど
タツミ
拒否され
殺し合いになる
これが基本と
考えておけよ
ここで説得出来る
ようなら元から
袂を分かってない
その通りだ
ただこちらは
何が起こっても
サポートする
その用意が
あるということ

……
クロメは
チェルシーの
仇だ
お前も色々
思うところは
あるだろうけど
…いや

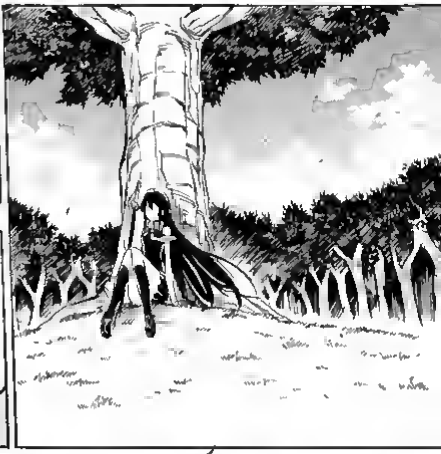
姉さんと
同じだよ
アカメが
決めたなら
どんな結末に
なろうと
俺も力を貸す

それがアカメの
出した結論
だもんな
……
…そか

昔のタツミなら
姉妹で殺し合いは絶対避けるべきだ止めるべきだと騒いでいただろう
だが今は
そうなるなら仕方がないと受け入れている

…これは…大人になった…
ということではないだろう

早く終わらせなければ…
こんな時代は

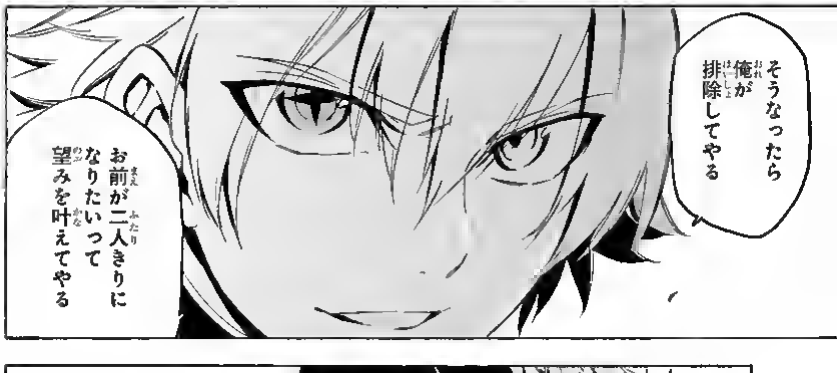


もっとしっかり休んだ方がいいんじゃないのか？

……タツミ

今夜のことを考えるとどうしてもな
そのことで話があるんだけど
俺も行くぜ
ダメだ
お前と一緒に
これは私達姉妹の問題だ
そうだよ
お前の問題だ
お前の問題だから仲間の俺も力を貸すんだ

クロメには
一人で来いと
言ってる
ああ
だからお前達
姉妹の邪魔は
しないよ
よっ
どんな結果に
なろうとも
ただ相手は
一人で来ることは
限らないだろ？
クロメがその気でも
誰かがついて
くるかもしれない


そうなったら
俺が
排除してやる
お前が二人きりに
なりたいって
望みを叶えてやる

タツミ…

しかしボスに
もう決戦まで
戦うなと
言われたろう
…あれは俺が
この前の装着で
苦しんで心配
かけたからな

帝具持ちの医者が
4回持つって
判断したんだ
それまでは
耐えてみせる

もし今回
その1回を
使うとしても
なんの
悔いもねえ！

昨晩置いて
いかれたの本当に
ショックだったんだぜ？
……
今度はついて
いくからな！

俺だって死にたい訳じゃない
マインがいるんだ
4回を超える気はない
俺は…
でもまだ戦える力があるはずなのに気を使われて
それで仲間に何かあったら
俺は…！

ありがとう
タツミ
優しいな
なのに私は
お前に装着させる
リスクがあるのに
それでも
行く気を
変えない

俺が行くって
聞かない
だけだよ
ドッ
ビュン

この村雨には
奥の手がある
今の私では
使えないが

ああ
前に道中で
教えて
くれたな
妖刀の奥の手を
使うには人間を
捨てなければ
ならない…
そう
教わった
！
人間を
捨てる!?

斬って斬って
斬り抜いて
心が鬼になった
時に使えるのでは
ないかと
私は解釈
している
…その時は
近いのかも
しれない

えっ!?
イェーガーズの
ウェイブに
言われたんだ
どんな
事情にせよ
妹を斬ることが
救済なんて言ってる
お前どうかしてるぜ
多分…
こんな私だから
こそ村雨を
使えるのだろう

でも
今夜だって
説得はして
みるんだろ？
ああ
だが
駄目ならば
斬る…！
それも
確かだ
頼みがある
ナイトレイドに
討たれるなら
本望だ
お前が私を
斬ってくれ
それはもう
ナイトレイドの
標的だ
もし私の心が
鬼になって
しまったら
妖刀に
取り憑かれて
しまったら

……!!!
じゃあ俺からも頼みがある
もし俺がタイラントに乗っ取られちまったら
俺が竜になったら
アカメが斬るんだ

仲間に
討たれるなら
本望だよ

……！
ふざけんな！
マインがいるのに
弱気だぞ！
とか思ったろ

俺も同じ
気持ちだったよ
俺に死ぬなって
約束させといて
なんかズルいぜ

すまない
本っ当にどーしようもなくなったらそうするってことで
心おきなくそうならないように全力で頑張ろうぜ
……うん

なにぃ!?
誰一人殺せずおめおめ帰ってきたじゃと!?

クズがっ
何が暗殺部隊じゃ使えん!!
これでは儂の可愛いワルモが浮かばれぬわ!
責任問題じゃ!!

こんなことになっているとはな
確かに責任問題だ

おお
エステス将軍！
では不甲斐ないこやつ等に拷問を…

勝算ゼロの
特攻命令を出した
老害を
処分とした
隊長！
ﾀﾀﾀ

まさかここまで
無策だとは
思わなかった
大変だったな
お前等

特殊部隊の運用も
私が行うべきだな
大臣に
会ってくる
お前達は全員
決戦まで
好きに過ごせ

そっか
大変だったな

でも不甲斐無いよ
無茶な命令でも成功させたかった

そうすれば私達は更に認めてもらえたのに

！
ウェイブ？
？
？
そっ

マイナスなことを考えずにまずは寝ろ！
夜戦もあって疲れたろ

無理だよ
あんなことがあってとても寝られる気分じゃ…
じゃあ漁村に伝わる子守歌を聞かせてやろうか？

え？
ウェイブの歌？
おお
…下手すぎて私が気絶してしまう
という意味で子守歌？

バカにすんなよー
これでものど自慢大会で鐘二つだったんだぞ
わしゃわしゃ
あはは
鐘二つじゃ微妙じゃない？

私も…
もう
時間無くなってきちゃったなあ…

そ……
治療に専念すればいい色んな名医にも見せるから！
そんなこと言うなよ！
決戦が終われば帝の部隊はやめて髪を抜いていいだろ
いっぱい頑張ったんだから!!
そうすれば絶対お前の寿命は延びる！

…ウェイブ
文句を言う奴がいたら俺が黙らせてやる！
その為の手柄を決戦で立てる！
武勲の見返りなら誰も文句言わないだろ！

…でも
私は戦う為に生きてきたから…
隊長だって薬を抜いた私なんて戦力として見てくれないよ
お前は薬を抜いても十分強いって！
隊長が戦力外を出すなら俺が出世して俺が雇うから

そこで薬無しで思い切り働けばいいじゃないか！

…頼むから…
生きる方向に
日を向けて
くれよっ…
ふふっ
…ウェイブが
上司って
想像出来ない
なぁ
なにっ

菓子は好きな時に食っていいルールにしてやる！
やることやれば文句は言わない職場だ
凄いだろ！

いいかもね
それ

！
だろ

お姉ちゃんは料理係…だと食べちゃいそうだから私の補佐
ナタラが家事で
ランが書類担当って感じかな

うん
楽しそうな
職場
……！
実はこれから
お姉ちゃんに
呼び出されて
るんだ
一対一で

お姉ちゃんを
八房で斬って
連れてくるね

ダメだ
なんで…？
行かせてよ
行くな
仲間でしょ

仲間だから
止めてるんだ
行くなら
隊長に知らせて
皆で行くぞ！

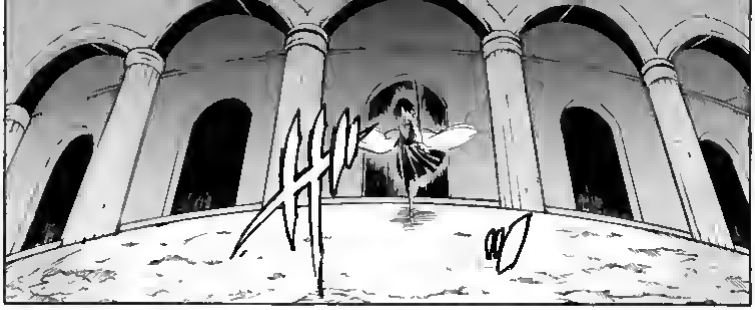
お前は
俺が守る！

……
ウェイブ

!!
ごめんね
仲間なら

お姉ちゃんとのことだけは
私の好きにさせて
一対一でとことん決着つけたいんだ
クロ…
メ……

バタン



となりゃあ
俺が見つける
しかねえ！

隊長は宮殿で軍議

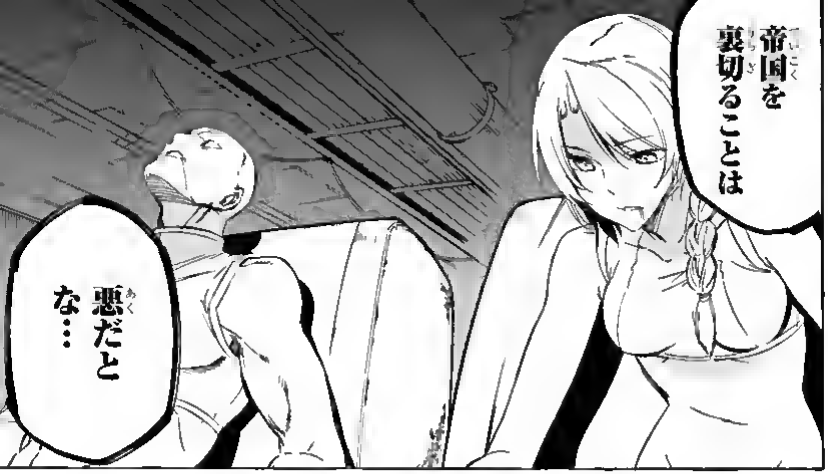
どこか近場で
戦ってるはずなんだ…！
遠くに行ける
訳が無い

爆発とか
轟音とか…
なんでも
いい！
手がかりさえ
あれば
見つけてみせる！
どこだ――
クロメ!!

第65話 妹を斬る(後編)

帝都
地下
よし
決戦に備えて
栄養剤を
投与しておけ
暗殺部隊
全員睡眠状態に
入りました

それと…
裏切り者に
接触したのだろう
念の為に
いつもの暗示を
倍かけておけ


帝国を裏切ることは
悪だとな…

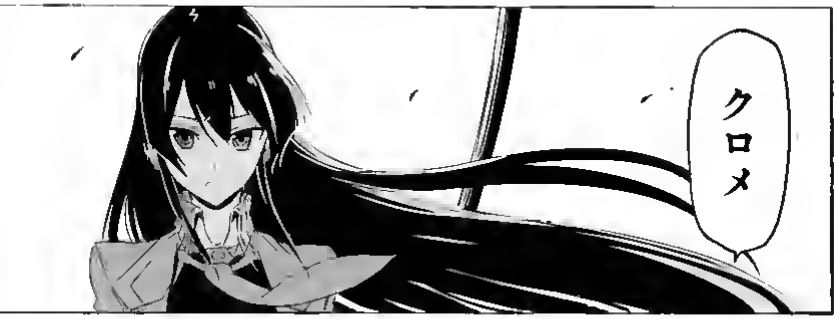
妙なコトを吹き込まれて決戦の際に寝返られては
拷問モノだぞ

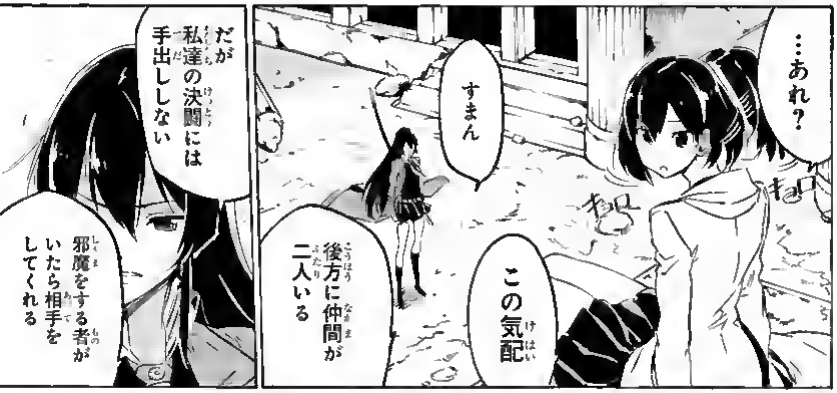
帝都近郊
ギヨウの森

帝都近くにありながら薄暗いこの森奥深くは
危険種の生息地として知られ
民は近づかなかった

ooo

お姉ちゃん！


クロメ

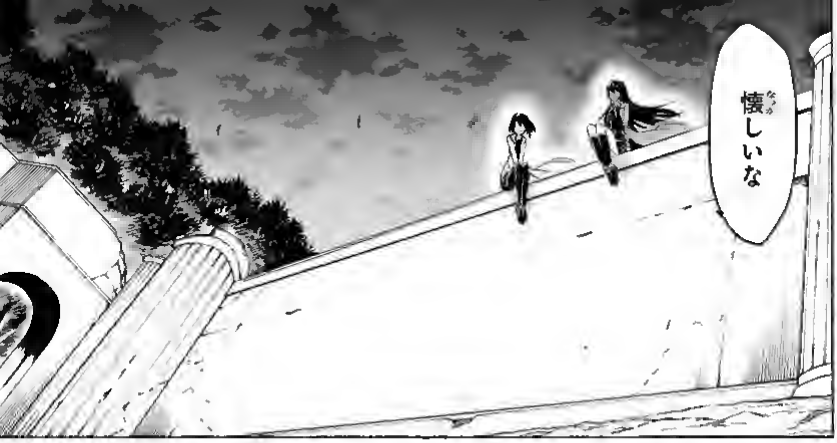

…あれ？
すまん
この気配
後方に仲間が二人いる
だが私達の決闘には手出ししない
邪魔をする者がいたら相手をしてくれる

私達の決意を汲み取ってくれてるんだ
見届け人てことかな
分かった
お姉ちゃんがそう言うなら

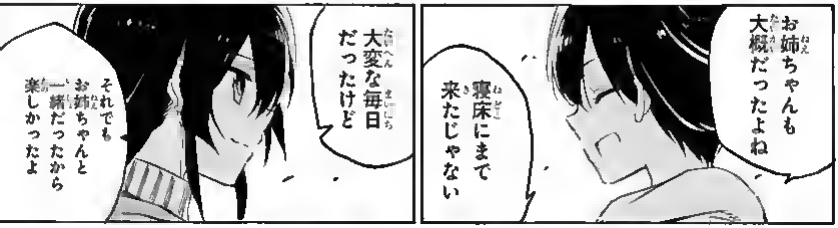
これ持ってきたんだけど
食べる？
……
ああ

どーやら二人でお菓子を食べ始めたね

…不思議な関係だよね
敵対しても
互いを信じてるっていうか
今のところ他に人の気配は無し
どうなるやら


懐しいな

再会してからは
よくここで
鍛錬したよね
何をするにも
一緒だった
クロメは
風呂にまで
ついてきたな


お姉ちゃんも
大概だったよね
寝床にまで
来たじゃない
大変な毎日
だったけど
それでも
お姉ちゃんと
一緒だったから
楽しかったよ

…ああ

…うん
やっぱり
こうしてると
凄い落ち着く
これからも
一緒にいてよ
お姉ちゃん

…いいぞ
お前が私と
来てくれれば
ずっと一緒に
いられる

…意外だね
お姉ちゃん
今の立場で
そんなこと
言っちゃうなんて
駄目だよ

証明しなきゃ
私達がいかに
強いか
使えるかを！
私達は帝国で
戦わなきゃ！

そうでも
しなけりゃ
死んだ皆が
可哀想すぎる

……
お姉ちゃんが
帝国に戻って
くるべきだよ
……それは
出来ない
だよね
こう言われるのが
分かってるのに
変なお姉ちゃん
……クロメ

お姉ちゃんは
妹よりも
志を
取ったんだ
でも
民の為に
この世界を
変えるって思いで
行動する
そんな真面目な
お姉ちゃんこそ
私が大好きな
お姉ちゃんでも
あるんだよね
許せないけど
大好き…
頭の中
ぐるぐるだよ

お姉ちゃんは
他の人には
斬らせたくない

…クロメの
言う通り
志を取った時点で
私は…
こうなる覚悟を
決めたはず

出る時に
超強化薬を
飲んできたから
ビキビキ
帝国を
抜ける時みたいに
無理矢理確保
しようとしても
無駄だよ
…そうだ
戦いの最中で葬れたら
エスデスですらあの様だ…

覚悟を
決め直せ
今はもう
完全な敵同士
戦うとなれば
容赦はしない
来ないと
いうなら

クロメ…
お前を
葬る

スイッチ
入れてくれたね
じゃあ そろそろ
やろうか
お姉ちゃん
お姉ちゃんを
倒せばずっと
一緒にいられる
だけじゃない
名誉挽回にも
つながる
非道抜組
私達の存在を
強く認めさせる
ことが出来る

その気概…
受け止めてやる！
来い！
クロメ！

うんっ！

八房を
起動させない
だと…!?

ガガガガガガガガ

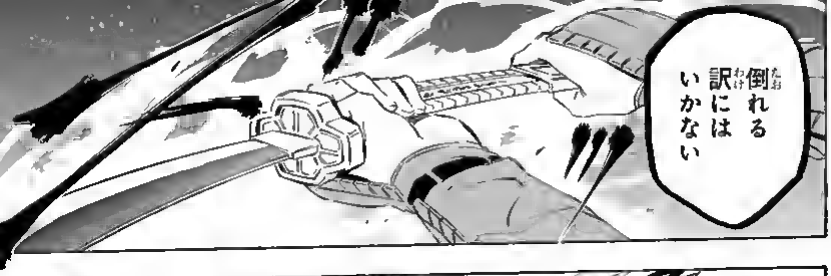
ガガ
くっ

はぁあああ
あああああ!!!
流石
超強化薬
凄いっ!
……!!!

今の私なら
お姉ちゃんを倒せる！

なんという薬物だ
ここまで強化するとは…！

また
浅かったか
痛い？
お姉ちゃん
次で楽にして
あげるからね


倒れる
訳には
いかない

私は村雨を普通の
刀と同じように
振るってきた
帝具に甘えて
地力が落ちれば
結局死ぬからな
だが今は
土壇場だ
一斬必殺

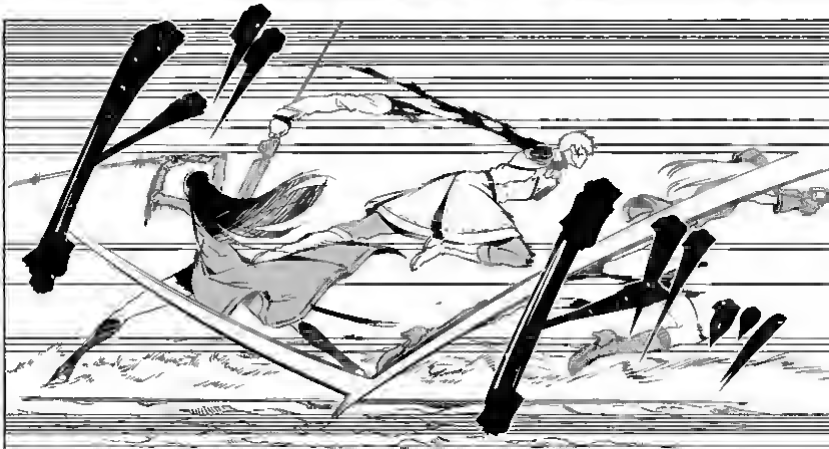
存分に
帝具の性能を
頼る

……うーん……
急所を狙わずに
どこでもいいから
掠らせようって狙いだ
なりふり
構ってないね
確かに厄介
いいよ！
お姉ちゃんが
帝具頼みなら
私もそうする！
八房！

その女も
手はおそらく
他の死体からの継ぎ足しで
本来の力は発揮出来まい

ナタラ…
お前の身体はもう
度重なる戦いで
ボロボロだろう

葬る！



もう
眠らせてやる

羽根の硬度も速度もとっくに体験済みだ

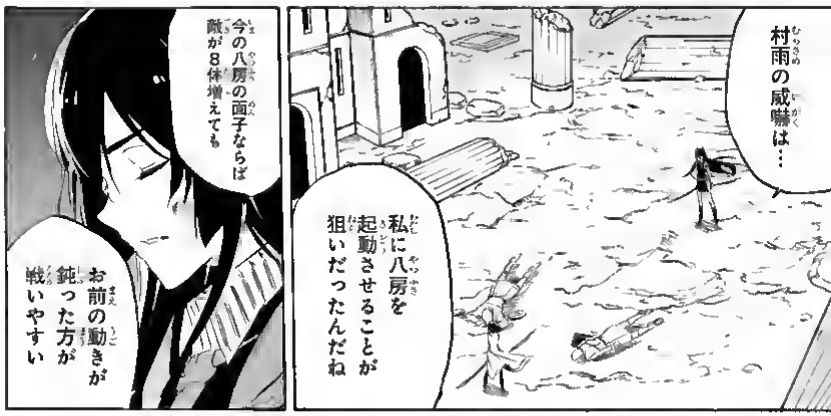
ゴゴゴゴゴゴ
対抗出来るよう鍛錬してきた！
ドン
ドン
なっ!?

ヒュウ
ウ
ウ
ウ
ウ
ラン…

防御を命令する
暇なんて無かったのに…
私をかばってくれた…

二人共
ありがとう
でも動くの
キツイでしょ

後は私がやる


村雨の威嚇は…
私に八房を起動させることが狙いだったんだね
今の八房の面子ならば敵が8体増えても
お前の動きが鈍った方が戦いやすい

厄介なのは
羽根の男だが
既に死んでいる
羽根の対策を
練れた私と違い
死体は成長しない
八房の弱点だ

じゃあ
やっぱり
私が直接

お姉ちゃんを倒す

ボボ
ドドド

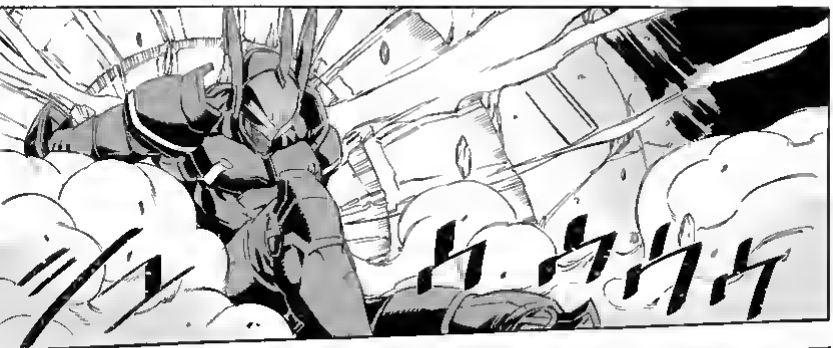
八房の発動で
体力を急激に
消耗しすぎたな
くっ
ガガガガガ

第66話

因果を斬る

クロメエエエエ!!!

!?



…ウェイブ

決闘を止めに来たんだろ
ウェイブ
ドドドド

…そうだ
二人の邪魔は
誰にも
させねーよ
いや
絶対に
戦いを止める
どけっ
クロメの所に
行くんだ!!

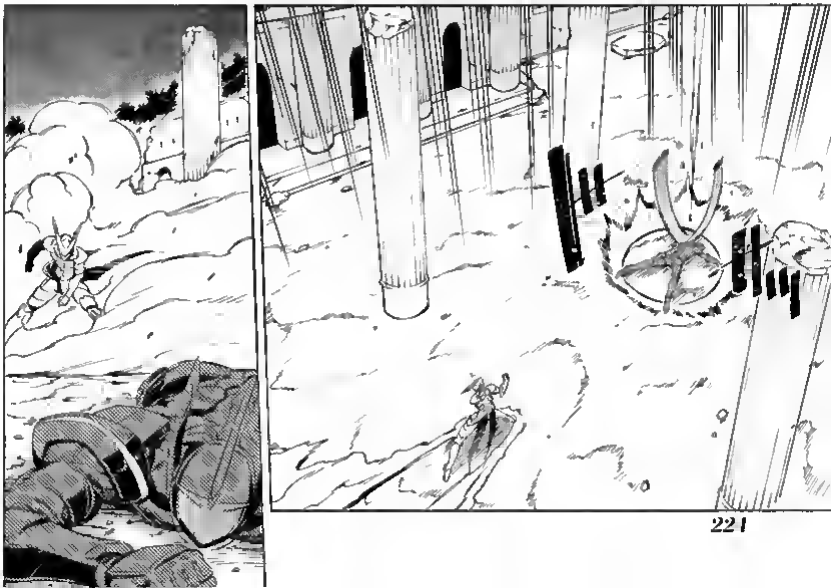
行かせねぇ!!
どかねぇなら
どかすまでだ!

クロメは…
俺が守る!!
そのクロメ自身が…
戦いを望んでるんだよ!!
ぐっ

ドゴッ
ギギギ

強え…
なんだコイツ…

前に戦った時とは強さの桁が違う
たった数撃もらっただけで致命打だ



本当に仲間の為を想うなら…
どんな形であれ望みを叶えてやるのが筋ってもんだろ
立ち上がるなら
お前は標的じゃないけど…
討つぜ

ここまでとは…
……タツミ
でもよ…
でも…

俺だって
引けねえ……!!
……ラン……

お前が飛んでる姿を見たから
ここが分かったんだ
お前が導いてくれたんだ
甘えてばかりで悪いけどよ

もう一つお願いがあるんだ
ラン

立ち上がったな
容赦しねぇ!!

マスティマの力を――
俺に
貸してくれ!!!
!

ぐう…
あ

帝具同時使用

クロメに届く!!

ノインテーター!!
……!!

グランフォール

フリューゲル!!

ビキ

ビキ

ビキ

砕く!!

ハア
ハア
ハア
ぐっ

戦いの前に使った薬が強過ぎたんだろう
ピーク時は私を凌駕したが
その反動が出てもう力が下がっている
……!!

勝負はついた…
分かるだろう
剣を捨てろクロメ

…それなら
もっと
飲めば…!!

もうよせ!

だって
これしか戦い方を
知らないもん
ずっと
こうして
きたんだもん!
このまま
負ける位なら…

私は…！
クロメ…！

待ちな！
ウェイブ!?
今度こそは…
な!!
今まで…
肝心な時に戦場にいなかったことが多いけどよ…
どうして…!!

二人から
離れろ
ウェイブ！
離れねぇよ
戦いは
止めて
クロメは
こっちで引き取る

だから
決着は
クロメ自身も
望んでる
ことなんだよ
……
そうだよウェイブ

ウェイブは仲間として
止めに来てくれたん
だろうけど…
それ
嬉しくないよ
前の俺だったら
仲間として止めろって
言うだろうけどな…
今はもう違う

俺はクロメを
男として好きだから
止める
お前は
俺が守る!!

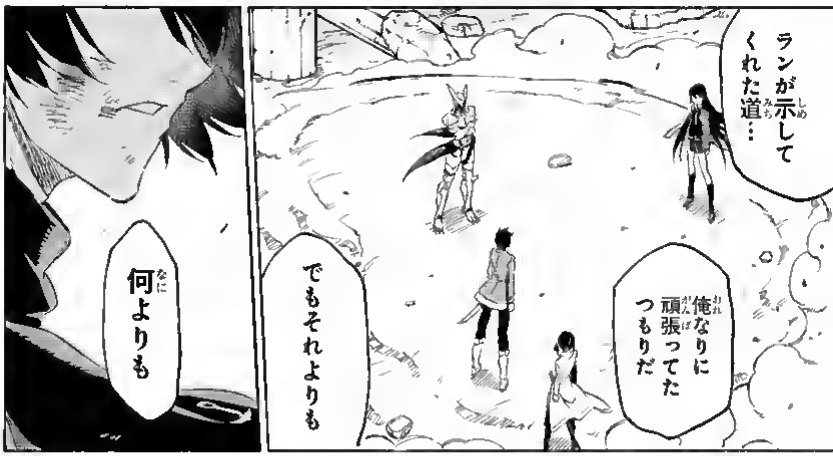
え

あのキスで…
俺の中の何かが弾けた
お前と仲間になってから
心の底に溜まってた想い…

それに気付いたんだよ
お前が仲間としてだけじゃなく
女として好きだってことに
な
な
…守る？

一体どうやって守るというんだ
俺とクロメは帝国を抜ける
秘湯に行きクロメの治療に専念する

…お前は帝国を中から変えていくのではなかったか
その話は嘘じゃねぇよ…
本気で思っていた


ランが示してくれた道…
俺なりに頑張ってたつもりだ
でもそれよりも
何よりも

クロメが
一番大事な
存在になった
前のまま
仲間だから
助けたいじゃ
クロメに気持ちが
届かねぇ！
このままじゃ
クロメが
死んじまうよ
だから
この戦いを止める
責任を持つ
俺がこれから
クロメと一緒に
ずっといる！
それが
俺の結論だ
海の男は
惚れたら
一直線だぜ！
…何を
一方的に
言ってるの
ウェイブ

一緒にいてくれるのは…
嬉しいけど
帝国を抜けることは許されないよ
な
いい
お前は頑張った
俺は許す！
帝国を抜けるということは私達と共に…
それは駄目だ
愚人である師匠と戦う気はねえよ
反乱軍に入る気はサラサラ無い

俺とクロメは
戦いを降りる
どちらにもくみせず
逃げるというのか
決戦を前にして

ああ
すべてを捨てて敵前逃亡だ
だがそれでいい
クロメといられれば
もうそれでいい

そこまで好きだったのかよ
ああ

自分の気持ちに気付いた…
それ位熱かった
どうりで気合入ってるワケだ

気配を探ってたが
他に人はいなかったよ
あいつ一人で突っ込んで来やがったんだ
タツミは1回変身したけど
イェーガーズが二人も消えるなら大戦果だな
死者がグッと減るんじゃないか？

アカメ
この戦いから手を引いてくれないか
そして妹を俺にくれ！
必ず幸せにする!!

クロメは誰よりも
何よりも可愛いからな
恋をする流れは自然なものだろう
クロメ
すべてはお前の気持ち次第だ

戦うというなら
相手になる
だがここまで
言ってくれる
人がいるんだ

お前が
決めろ

…駄目なんだよ
帝国…
抜けるなんて…

ヒュン
ヒュン
ヒュン
私には
許されないんだよ
この前だって
仲間が大勢
死んだんだ
帝国の為に
最期まで
頑張ったんだ

お前はもう
そういうことを
気にしなくて
いいぞ
拒否した
ところで
お前は俺に
無理矢理
さらわれるん
だからな
ウェイブ!?

ドゴォ
ドゴォ
八房が…！
折りやがった…

これでもう
死体ともさようならだクロメ
今は死体が恋しくても
全部俺が忘れさせてやるよ
だから
俺についてこい

う…
うう…
クロメ…
こんなに言ってもらってるのに
まだ頭の中がグルグルする壊れそうだよ
だからお願い
このままさらって
ウェイブのことしか考えられないようにして…

おうっ!!
クロメ…
そうか…

こいつ…
変えやがった!!
姉妹どちらかが死ぬしかない状況を…
多くのものを捨てて…!!

俺たちは帝都から離れるよ

二人共インクルシオで粉々にしたことにしておく

折れた八房も証拠になる

それが帝国に伝わればお前達は自由の身だろう

恩に着る

つか帝具を二つも使って大丈夫なのかよ

今のお前に心配されるほどじゃねぇよ体中がヤバイくらい痛ぇ…が

今のところはそれくらいで済んでる

お前ほどパワーアップしてない分

ちょっとは融通利くみたいだ…

もしかしたら
それも…
ランのおかげかも
しれねえな…

お前は
凄いな
ウェイブ
妹を
救ってくれた
信念抱えて
戦うお前達の
方が凄えよ
俺達は
抜けるん
だからな

礼を言う
妹を
よろしく頼む
任せろ
俺は
それだけの
為に生きる

お姉ちゃん
いい仲間を持ったなクロメ
ねぇ
私…
生まれ変わってもまたお姉ちゃんの妹がいいな
私もだ

私もまたお前の姉になりたい

幸せにな
…うん
コン

それじゃあばいばい…

敵だった人間にこう言うのもなんだけど
ああ
ウェイブは信用出来ると思う
クロメを斬ると聞いた時本気で怒ってたからな
あいつなら
妹を任せられる
う…
ううう…
クロメ…
クロメ……

アカメ…
ポン
良かったな
倒さなくて終わったんだから
それに越したことはねぇよ!!
…うん

あとは大臣やエスデスだけだ！
国を変えて
おーよしよし
姉妹で斬りあうような世を終わらせる！
…だな
そんで皆で宴会だ
ここ最近重苦しかったけどいいモノ見せてもらった
この流れで最後まで行きたいね

姐さんの言う通り最終決戦もうまく乗り切れる
いや…
乗り切る！

イェーガーズ

残り一人

アカメが斬る!
Akame ga KILL!

TAKAHIRO's POSTSCRIPT

皆さんこんにちは、
みなとそふとのタカヒロです。
ここまでご覧頂き、ありがとうございます。
いつもの、補足説明をしていきます。

●クロメ
お別れのキスをしてみたら
海の男に火を点けてしまった、お姫様属性。
シュラ率いるワイルドハント絡みの出来事で、
クロメとウェイブの仲が深まっていたのが、運命の分岐点。

●ウェイブ
単純一途に火がつくと、こうなるという典型。
帝国にとっては敵前逃亡野郎、クロメにとっては王子。
腐敗した帝都を目の当たりにして、
溜まっていたやりきれない思いが爆発。
姉妹同士で血を流すという流れに、ＮＯを叩きつける。

●アカメ
「葬る」のスイッチはアカメ零の方で既に解説済みだが、
零を見ていない人もいると思うのでこちらでも、もう一度。
義理の弟ができた。

●エスデス
獲物は皆で食べるのが狩猟民族・パルタス族の生活。
パルタス出身の彼女も、そういった食事習慣があるので、
よく部下達を飯に誘い、食卓を共にしている。
機嫌がいいと、肉を焼いたり鍋を作ったりしてくれる。
（野戦料理は狩りの毎日だったので上手い）

●カイリ
クロメと同じく葉で育てられた強化組。
いつか選抜組に繰り上がりたいと思っていたが
結局かなわなかった。姉妹とは顔なじみ。

AKAME ga KILL! 13

Main staff

平岩くん
伊藤ちゃん
勝野さん
今井さん

Main Partner

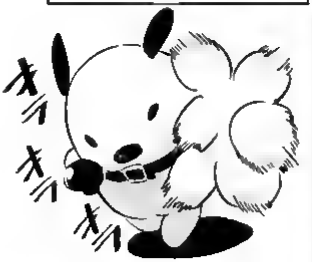
原作者様
タカヒロさん
担当様
小泉さん　木内さん

Comment

皆さん元気にモンハンしてますか？
ハンターに乗り遅れました。田代です。

2015年10月にスペインの
サロン・デル・マンガというイベントに
参加させて頂きました。お世話に
なった現地のスタッフさんと
アカメが斬る！ファンの皆様に感謝です

日本でもバリバリ活動していきますよ！
皆様今後とも宜しくお願いします。



デジタル版　Ver.1.00
ガンガンコミックスJOKER

アカメが斬る!

13

2016年1月22日　Ver1.00発行

原作
タカヒロ
作画
田代哲也

© 2016 Takahiro
© 2016 Tetsuya Tashiro

発行所
株式会社スクウェア・エニックス

装幀
鮎川貴子

初出／月刊ガンガンJOKER
2015年8月号～2016年1月号掲載

＜ページ抜け・誤植・内容についてのお問い合わせ＞
スクウェア　エニックス　サポートセンター　http://square-enix.com/jp/jp_manga_support
＜ビューワーの不具合　再ダウンロードできない等、販売に関するお問い合わせ＞
本作品を購入された電子書籍店のサポートセンターにお問い合わせください。
この作品はフィクションです。実在の人物　団体　事件などには、いっさい関係ありません。
本作品は、作品のオリジナリティを尊重し　台詞や表現を発表当時のまま収録しています。
あくまで作品世界の中での表現であることをご理解ください。
本作品の内容の一部あるいは全部を、著作権者、出版権者等の許諾なく、
転載、複写、複製」公衆送信（放送、有線放送、インターネットへのアップロード）、
翻訳、翻案等を行うことは、著作権法上の例外を除き、法律で禁じられています。
これらの行為を行った場合、法律により刑事罰が科せられる可能性があります。

カバー折り返し

STORY
TAKAHIRO

[illegible]
元気です、私はスペインのフェアに行けませんでしたが、
四代さんが私の分まで頑張ってくれました。ありがとう。

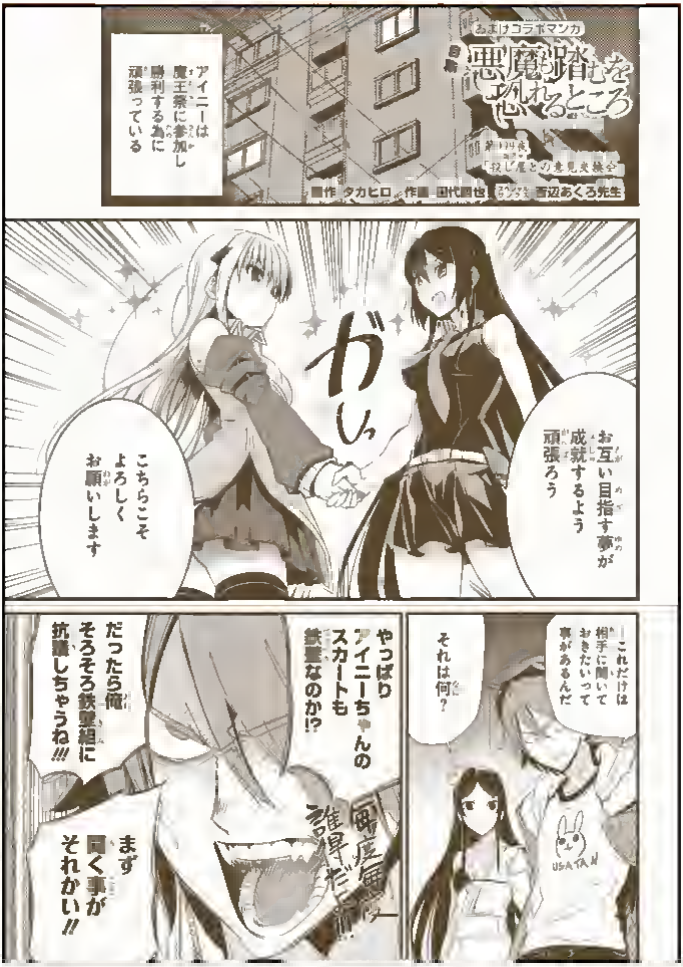
COMIC
TASHIRO TETSUYA

んでしっかり仕事して参りました。
現地の皆様の熱い思いを頂けて幸せでした。

最近はデジタル制作の事で頭てんやわんやです。

※コミックス発売時のカバー折り返しを収録

表紙 表



※コミックス発売時の表紙 表を収録

表紙 裏

「悪魔も慕わを恐れるところ」キャラ作画 百辺あくろ先生

※コミックス発売時の表紙 裏を収録